



## 後期後半がスタートしました

校長 松田 万寿雄

1月16日(月)、23日間の冬休みを終えて子どもたちが元気に登校してきました。静かな学校が、また賑やかになりました。後期後半は、1年生から5年生は45日間、6年生は42日間しかありません。進級、進学した姿をイメージして1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

今年の4月に先生たちに「楽しみながら自己研修を」という話をしました。その中で「六つのみる」を心にとめて実践に向かってほしいことを伝えました。それは「聞いてみる」「読んでみる」「話してみる」「やってみる」「考えてみる」「書いてみる」です。後期後半の短い期間ではありますが、子どもたちにも「六つのみる」を心にとめて、自分で楽しみながら春になったときの自分をイメージしたり、自らよりよい学校生活をつくりあげたりして行ってほしいと思います。そして、



縦割りグループごとで行った高学年による全校読み聞かせ会の様子(1/25)

子どもたちが、「① 未来を見つめ ② 支え合い、磨き合い ③ 共に高まる美里っ子」として過ごすことができたと自信をもって言えるよう、我々職員も一丸となって子どもたちを励まし、指導、支援していきたいと思ひます。

## ☆☆☆美里っ子の活躍☆☆☆

◇第17回男鹿市民ロードレース大会兼男鹿市民スポーツ大会陸上競技の部

【小学生男子1~3年生の部】 ○第1位 2年 ○○ ○○

◇第5回男鹿潟上南秋児童生徒書き初め展

○銀賞 3年 ○○ ○

○銅賞 3年 ○○ ○○, ○○ ○○, ○○ ○○, ○○ ○○,  
○○○○○, ○○○○○

4年 ○○ ○, ○○ ○○, ○○ ○○, ○○ ○○, ○○ ○○

5年 ○○ ○○

6年 ○○ ○, ○○ ○○, ○○○○○, ○○○○○,  
○ ○○, ○○ ○, ○○ ○○

◇第63回秋田県児童生徒美術展

○話題作 2年 ○○ ○○

◇第68回読書感想文男鹿潟上南秋コンクール

【自由読書の部】 佳作 2年 ○○ ○○

6年 ○○ ○, 6年 ○○ ○○



6年生を対象にSOSの出し方講座を行いました。困ったときの対処の仕方や心の健康について学ぶことができました。



ペガサスの丘で1・2年生がそりを使って雪遊びをしました。笑顔いっぱい活動をしていました。

昨年12月に実施した保護者アンケートの集計（回収率92.3%）がまとまりました。ご協力ありがとうございました。アンケートは、大まかに「学校の教育活動や学校での子どもの様子」「家庭での子どもとの関わり」「学校・家庭・地域が連携して取り組むこと」の3項目について回答をしていただきました。この保護者アンケートの結果から、改善すべき点等について確認し、後期後半の教育活動を進めたり、次年度の取組について検討をしたりしています。保護者アンケートの集計結果の資料は、後日、保護者の皆様に配付する予定です。

### 【保護者アンケートの結果（抜粋）】

※結果の数値は設問に対する肯定的評価の割合です。

項目	No.	設 問 内 容	結果(%)
学 校 教 育	1	学校生活の様子が、たよりやホームページなど様々な機会を通して伝わってきている。	96.7
	2	地域・保護者からの要望や意見が教育活動に生かされている。	94.5
	3	学校行事や児童会行事は、子どもが主体的に活動できるように工夫されている。	100.0
	4	子どもは、体験活動や奉仕活動を通し、思いやりの心が育っている。	98.2
	5	子どもにとって学習は、「分かる」「できる」と実感できるものになっている。	96.4
	6	子どもは、家庭学習の習慣が身に付いていると思う。	91.5
	7	子どもは、いろいろな場面で適切なあいさつをしていると思う。	88.1
	8	子どもは自分の生活を振り返り、自分をよりよくしようとする態度が見られる。	82.1
	9	子どもは、学校生活を楽しんでいると感じる。	89.7
家 庭 教 育	10	家庭では、学校生活の中で努力することを働きかけている。	96.4
	11	家庭では、子どもの変化に気付いたときは、ほめたり励ましたりしている。	96.7
	12	家庭では、あいさつや言葉づかいに対して、日頃から子どもに意識付けをしている。	93.2
	13	「早寝」「早起き」「朝ごはん」を家庭でも実施している。	83.3
	14	テレビやゲームの時間は家庭での約束を決めている。	86.7
連 携	オ	人を思いやり、親切にしたり、人と助け合ったりすることができる。	76.3
	エ	あいさつがきちんとできる等、礼儀正しい行動ができる。	45.8
	キ	約束や社会のルールをきちんと守る。	42.4

※連携は、9項目の中から3つ選択をしていただいた結果で、9項目中多かったものから順に3項目を載せました。

保護者の皆様の学校教育活動へのご理解とご協力により学校行事等もスムーズに進めることができています。子どもの様子に気を配り、前向きに学校生活を送ることができるように家庭でも働きかけていただいていることが分かります。しかしながら、「あいさつ」「よりよくしようとする態度」「学校での過ごし方」などについては、他の項目よりもやや低くなっています。学校と家庭がより一層手を取り合って働きかけていく必要があると感じています。子ども一人一人の自己有用感を高め、様々な活動に取り組めるように連携を深めていければと思います。